
私の中のわたし

yuka

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私の中のわたし

【コード】

N4706Q

【作者名】

yuka

【あらすじ】

普通に過ごしてた小6の加耶。しかし急に幽霊が現れた。加耶との展開にご注目！

出会い

普通に小学校を通っていた。そうして普通に中学校に行くこととしてた。

なんにも悪いことはしてないはず？（多分）

頭の方も、クラスで5、6番めにいいはず。

運動のほうも、悪くはない。（良くもない。）

なので、なんにも恨まれるようなことはないはず。

なのに、なぜ目の前に幽霊がいるの？

はあ意味が解らない。

観察したところ、小学6年生くらい？

てかうちと同じくらい。

「なにじろじろ見てんの？」

ぎゃっ！えっしゃべったんだけど。は？意味不んだけど。

「意味不？それはこっちのセリフなんだけど」

えっなんで分かるわけ？小説風にいうと「心の声」ってやつ？

「分かんないの？うちはあんだなの。てことは、あんたはうち。」

へっ???

頭の中に？マークがたくさん浮かんだ。

「あんたバカ？てことは あんた〃うち なわけさ。」

そこじゃなくてさあ。じゃあ名前は？うちがあんだなら名前一緒にしよ！

「分かるに決まってるじゃん。佐野 美智子 ちがう？」

フツ（笑）うち高木 加耶だけど？

「えっ？違うの？佐野美智子じゃないの？高木って……」

ざまあみろっ！へっ！

「ホントに高木？」

はいっ！佐野なんて名前ではなく！

「……あっそう。じゃあココに住むから」

えっ？今なんと？

「ココに住むって言うてんの！」

そんなのム

「じゃないと、どうなるのかわかってんの？うち幽霊だよ？祟る」とだって恨むことだって・・・」

ひどっ！

「いいの？いいんだね？」

無理無理！もういいです。ぜひ住んでください。

「やっぱり高木はこうでないかね！」

はひ？なんのこと？

「あつ聞かなかったことにして！ね！じゃないと・・・」
聞かなかったことにさせていただきます。

「じゃあこれからいろいろとよろしくね」

はあ。

そして私と幽霊の生活が始まった。

少し後悔したけれど、前向きに考えることにした。

だって人生前向きにいかないかね！

続く

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4706q/>

私の中のわたし

2011年10月8日15時59分発行